視覚障害リハビリテーション研究発表大会招致要項

この要項は、視覚障害リハビリテーション協会（以下当協会）の最も重要な年間行事である視覚障害リハビリテーション研究発表大会（以下大会）の招致を企画している個人・団体に対し、応募の要件や方法を示すものです。

１．実施していただく内容

（１）大会の開催および必要な準備（企画立案、会場確保、広報、当日の運営等）

（２）抄録集の作成および参加者（事前登録者）への配布（Webでの公開を含む）

　※抄録集はテキスト版やデイジー版を作成するなど視覚障害があっても利用できるよう配慮をしてください。

（３）懇親会の開催および必要な準備

（４）大会終了後の報告書および会計報告書の作成・提出（大会終了後6ヶ月以内）

２．企画・開催するうえでの条件

（１）開催時期は６月～９月中旬のなかで、２日半の日程で、他の関連学会の大会・学術集会となるべく日程が重ならないように決めてください。

（２）大会中の内容について

　・口頭発表ならびにポスター発表を必ずプログラムに入れて、会員からの発表※を公募してください。

・シンポジウム、パネルディスカッション、講演会、ワークショップ等のその他の魅力あるプログラムを企画してください。

ただし、プログラムの中に、当協会の定期総会に1時間、地域ブロック会に1時間、そのほかに当協会の指定したプログラムを半日分組み込んでください。定期総会は、昼前後などできるだけ会員が参加しやすい時間設定にしてください。

（３）大会の実行委員会を組織し、その代表である大会長を選出してください。実行委員会には、当協会の企画するプログラムとの調整役として、当協会の理事もしくは協会主催大会プログラム検討委員会の委員、少なくとも１名を入れてください。

（４）会場は、なるべく公共交通機関からのアクセスがよい、参加者を十分収容できる会場をご用意ください。

（５）大会期間中に機器展示会を同時に開催してください。出展費用を収入に充てていただいて構いません。

（６）当協会の定める個人情報保護方針と会員名簿管理要綱を遵守し、個人情報保護をしてください。

※口頭発表とポスター発表の発表資格は、当年度会費を納入している会員です。

３．経費

　基本は独自採算でお願い致します。当協会は５０万円の大会開催補助金と、当協会が指定するプログラムに必要な会場費等の経費を大会実行委員会に支出します。

大会後の収支決算で、万が一赤字が出た場合でも原則補てんは致しません。

決算の結果、余剰金が生じた場合は、以下のような処理をお願いいたします。

その金額が補助金以下のときは、全額を視覚障害リハビリテーション協会へ寄付してください。その金額が補助金以上のときは、補助金相当額を視覚障害リハビリテーション協会へ寄付していただき、残金は大会開催趣旨を考慮し、開催地域の視覚リハ活性化のためにご活用ください

４．応募方法

　下記必要事項を記入のうえ、随時、「6．連絡先」あてにメールもしくは郵送にてお申込みください。

（１）立候補責任者氏名、所属、役職等

（２）開催地（可能であれば会場の候補も）

（３）応募内容についての問い合わせ先（氏名、所属、連絡先（電話・メールアドレス））

（４）実行委員会の構成（参加予定メンバー、施設・団体名等）

（５）趣意（応募動機、とりあげたい企画・テーマ、寄付等の見込み、地域の特長など）

※立候補責任者は今回の応募および大会実行委員会を組織して立ち上げるまでの代表者となります。なお、大会長は組織した実行委員会で選出していただき、当協会理事会の承認を経て決定します。

５．選考の方法・通知

　応募受け付け後、最初に開かれる定例理事会において、応募内容をもとに当協会の理事会で協議したうえ、議決により決定します。選考結果は、当該理事会終了後速やかに応募者に通知します。

6．連絡先・問い合わせ先

　公益財団法人　日本盲導犬協会内　視覚障害リハビリテーション協会　事務局

　住所：東京都渋谷区神泉町２１－３－３F　渋谷YTビル02

TEL：０９０－２７３１－４８３１

　E-mail： info@jarvi.org

施行　平成　　年　月　日

改正　平成29年９月６日